謹賀新年

市長
櫻田 宏

市議会議長
清野 一榮

大切な財産と風景を次代へ

あけましておめでとうございます。

市民の皆様には、お健やかに新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

昨年は、弘前市誕生 130 周年とともに、「令和」という時代の幕開けを迎えた歴史的な節目にあたり、新たに策定した弘前市総合計画に掲げる将来都市像「みんなで創り みんなをつなぐ　あずましいりんご色のまち」の実現に向け、市民の皆様とともに新たな一歩を踏み出した年であります。

今後ますます加速する人口減少や少子高齢化に対応するとともに、地域をより元気にするためにも、市民との協働による市政運営に加え周辺市町村との広域連携によるまちづくりを推進しながら、市民生活を第一に考え、市民の「くらし」を支え、市民の「いのち」を大切にし、そして次の時代を託す「ひと」を育てるための各種施策を展開してまいりたいと考えております。

弘前公園でのさくらまつりも、今年で 100 回という大きな節目を迎えます。先人たちが築き、そして残してくれた大切な財産と風景をこれからも守り続け、自然豊かで歴史と文化が薫るこのまち「弘前」を、次の時代を担う子どもたちに胸を張って引き継いでいけるよう日々邁進してまいりますので、皆様のより一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして希望に満ちあふれ、幸多き年となりますことをお祈り申し上げまして、新年のあいさつといたします。

年頭にあたって

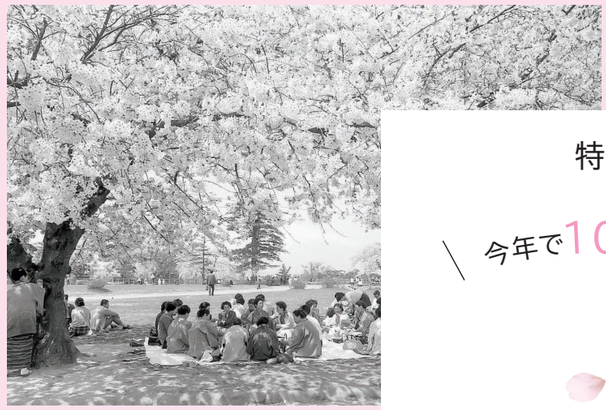
新年おめでとうございます。市民の皆様には、健やかな新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

新元号を迎えて初めての元日となりますが、「令和」も大分身近になったのではないでしょうか。我々、市議会議員も改選を経て、令和時代の幕開けと時を同じく新しい任期が始まりました。議会活動においては、市の基幹産業を後押しし、生産者の声を届ける「りんご産業振興特別委員会」を設置しました。また、議会基本条例の検証に着手したほか、委員会の会議録を市議会ホームページに公開するなど、今後とも市民により身近な市議会となるべく、さまざまな改革を進めてまいります。

さて、いよいよ東京 2020 オリンピック・パラリンピックが開催されます。当市では、ブラジル視覚障がい者柔道チームや７人制ラグビー女子日本代表など、出場を目指す多くの選手が合宿を行いました。さらに、青森県の聖火リレーは弘前公園本丸から始まる予定とされており、オリンピックの日本開催が実感できることと思います。

また、今年の干支は十二支の最初に当たる「子年」であり、子孫繁栄や生命が宿り新たな動きが始まる年といわれております。子年にふさわしく、子育てがしやすい、何事にも挑戦できる、みなさんが「あずましい」と思える弘前市の実現に努めてまいります。

結びに、市民の皆様の一層のご支援とご協力をお願い申し上げますとともに、本年が皆様にとりまして希望にあふれ、健康で幸多い年となりますことを心からご祈念いたしまして、年頭のあいさつといたします。



特集

＼今年で100回目／

弘前さくらまつりの思い出をたどる

毎年多くの市民や観光客でにぎわう弘前さくらまつりは、大正7年に第1回が開催されました。戦争中に一時中止されていましたが、今年の開催で100回目を迎えます。日本一とも言われる弘前公園の桜の歴史とともに、これまでのさくらまつりの思い出をたどります。